



## <まちづくりアラカルト>

### 都市住民と中山間地域住民の連携を通じた地域活性

#### ～ 笠間クラインガルテンを事例に～

中山間地域の緑豊かな自然環境を活かした街づくりの一環として、今後期待されているクラインガルテンについて特集します。

#### 笠間クラインガルテンとは？！

笠間市は、都心より 100km 圏内に位置し、関東圏内にもかかわらず緑豊かな自然環境が残っています。そこで、都市住民が地域住民と交流を持ちながら草花や野菜を栽培し、心身ともにリフレッシュできる農村生活空間体験の場として関東地区初の本格的な滞在型市民農園『笠間クラインガルテン』が平成 13 年 4 月に開設されました。笠間クラインガルテンでは、利用者に滞在してもらいながら、地域資源を活かした「農のある生活」を通し、憩いの場を提供しています。

#### 施設の概要と利用状況

滞在型市民農園には、1 区画（300 m<sup>2</sup>）に簡易宿泊施設＜ラウベ＞（37 m<sup>2</sup>）と菜園（100 m<sup>2</sup>）を組み合わせたものが、50 区画整備されています。ラウベには、庭で家庭菜園を楽しんだり、自分で育てたものを調理できるスペースが確保されています。契約は 1 年単位で、1 区画が年間 40 万円です。利用者の多くは、関東圏内に住んでいる割合が高く、家族や夫妻で週末に利用しているようです。このことは、近年の余暇活動の変化やスローライフへの関心の高まりなどを受け、週末の余暇活動のひとつとして農村で生活することへの関心が高まっている傾向があるといえるでしょう。

#### < 笠間クラインガルテンの様子 >



#### クラインガルテンを活かした地域活性

クラインガルテンの地域効果としては、経済効果にとどまらず、クラインガルテン周辺の地域住民と利用者が月 1 回程度のイベント等を通し、定期的に交流を深めることで、利用者が週末だけの余暇の場所として笠間をとらえるだけでなく、地域との関わりを持ちはじめていることにあります。具体的には、地域自然の保全活動として清掃活動に参加したり、昔ながらの手法を取り入れた農業を実践している方々がでてきています。つまり、利用者は、都会の生活にはない田舎の生活リズムや人のぬくもりに触れることで、単にその生活を楽しもうとするだけでなく、笠間のよさを広めたり、地域に貢献しようと、積極的に自然保全等のボランティアに参加しはじめています。



## 笠間クラインガルテン利用者の声

実際に利用者に、クラインガルテンの魅力についてアンケートしたところ、普段とは違う非日常的な空間で生活することによって、やすらぎや「農」の面白さを実感でき、そのことが生きがいとなっているとのことでした。しかし、単に作物を自分で作る喜びを味わうだけでなく、開放的で素朴な地域性を持つ人々との交流や地域の温かい支援を受けて生活することの楽しさを知り、利用者として地域の恵みを受けるだけでなく、自分たちも地域のためになにか活動していきたいと感じている人が多いようです。

## 利用者と地域住民の連携の効果と課題

地域住民だけでなく、「準地域住民」である利用者が地域のことに関心を持ち、積極的にイベントに参加したり、周辺地域のまちづくり等の場で活躍することは、地域住民の意識向上や自然環境の保全、文化継承にとって、大きな働きとなるでしょう。しかし、クラインガルテンが特定の利用者のための閉鎖的空間にとどまることがないように、今後は、地域住民と利用者と行政の三者が連携を図り、地域活性化に働きかける必要があります。今育ち初めたばかりの地域住民と利用者の地域への働きかけが小さな種で終わらないように、積極的な支援が必要になってきています。

### < 週末の開催される農作物に関する講座 >



## クラインガルテンの可能性

高齢化や少子化、過疎化、農業後継者の不足といったことで元気を失いつつある農村地域に、新しい感覚とセンスに富んだ都会の人を迎え入れるということは、今まで忘れかけていた農山村地域のよさを農山村地域の人々が再認識できるだけでなく、農山村地域の多面的価値を具現化することで、農山村地域の総合的なイメージが向上し、地域住民の地域帰属意識を高めることにつながります。クラインガルテンを、農山村地域の発信地として位置付けることは、まちづくりへの大きな一歩といえるでしょう。

### \*まめ知識\*

クラインガルテンとは、ドイツ語で「クライン＝小さな・ガルテン＝庭」を意味します。日本では、「市民農園」と訳されることが多いのですが、本来は庭を持つことのできない都会暮らしの人が、庭造りや野菜作りのために利用するもので、ドイツを始めとしたヨーロッパ諸国では、古くから都市計画の中に位置付けられた緑地空間です。

日本のクラインガルテンの歴史はまだ浅く、本格的なものは全国的にもまだ少ないため、現段階における日本のクラインガルテンは、クラインガルテンの先進国であるドイツを手本とした新たな試みとして、注目を受け始めたところです。

### 問い合わせ先

笠間市経済部農政課

〒309-1698 笠間市石井717

TEL : 0296(72)1111 FAX : 0296(72)6085

E-mail : nousei@city.kasama.ibaraki.jp